

1級試験 受験申込者各位

ネイリスト技能検定試験『1級実技試験』 モデル同伴からトレーニングハンド使用への変更等について



この度はネイリスト技能検定試験をお申込みいただきありがとうございます。

JNECでは、ネイリスト技能検定試験における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、受験生、モデル、試験官など、試験に関わる全ての方の安全面を最優先に考慮して検討を行った結果、9月19日（土）に開催した『1級実技試験』は、これまでの「モデル同伴」から「トレーニングハンドの使用」に変更して行いました。12月26日（土）開催の『1級実技試験』につきましても、引き続き「モデル同伴」から「トレーニングハンドの使用」に変更して行います。トレーニングハンドを忘れた場合やモデルを同伴された場合は受験できません。1級試験の受験生は下記をご確認頂き、試験に臨んでいただきますようお願いいたします。

尚、この度のトレーニングハンドの使用および実技試験時間の延長は、コロナ禍における期間限定の特例措置となります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、上記特例措置の期間が延長となる場合がありますので、ご了承下さい。

記

■ トレーニングハンド使用への変更に伴う変更点の確認方法について

変更点等	URL 等	
1. トレーニングハンド規定	本紙2ページ目に記載	
2. トレーニングハンドの使用見本 およびテーブルセッティング例	http://www.nail-kentei.or.jp/pdf/traininghandgazou.pdf	
3. 1級実技採点基準	http://www.nail-kentei.or.jp/about/pdf/saiten1.pdf	

■ 本件に関するお問い合わせ

公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-3 赤坂東急ビル 7F

TEL.03-3519-6830 FAX.03-3519-6835 <http://www.nail-kentei.or.jp>

【1級トレーニングハンド規定】

1級実技試験はトレーニングハンドのみの受験とします。モデル同伴での受験は出来ません。

- 1人2個、下記の条件のトレーニングハンドをワンセットで使用する。
 - ① 右手用、左手用をそれぞれ1個ずつ ②右手用を2個 ③左手用を2個「右手」「左手」が分かるようにトレーニングハンドの手首（手の甲側）の位置に「右手」「左手」と記載した品名ラベルを貼付するか、または黒マジックで事前に記入すること。もし、試験中に品名ラベルがはがれた場合は貼り直しをすること。審査開始時に黒マジックでの記入がされていない場合や品名ラベルが貼られていない場合は減点。
- トレーニングハンドは、キューティクル周りに著しい汚れ、傷など（審査に支障をきたすようなもの）がついていない清潔なものを使用すること。
- 既製品にあらかじめ加工されているもの以外に、自分で文字や線、目盛などを記入したトレーニングハンドを使用した場合は失格。
- トレーニングハンドを固定するためのアームや吸盤などは使用不可。
- 手首部分に「左手」「右手」の表記やラベル貼付をするため、手首部分があるものを使用すること。指の部分が着脱可能なトレーニングハンドは使用不可。
- トレーニングハンドは試験開始時には擦式清拭消毒をすること。トレーニングハンドに装着できるのは、チップ、フォーム、「（右手）」「（左手）」記載の品名ラベルのみとする。
 - ① トレーニングハンドの指部分が固い場合、指間を広げる指を下向きにするため、相応の力が必要であるが、出来る限り人の手と同様に丁寧に扱うこと。
 - ② トレーニングハンドの指間が広げにくい、広げても元に戻りやすい場合、指間への挟み込みを消毒済みのCカーブ用スティックのみ使用可能とする。
- 使用するチップはナチュラルのみとし、事前に10本すべてに装着してくること。チップの装着方法の指定はないが、試験中に外れないように装着すること。試験中にチップが外れた場合はすぐに付け直すこと。審査開始時にチップが外れていた場合は失格。
また、試験終了時にはすべての指を伸ばしておくこと。試験終了時にすべての指が伸びていない場合は減点。
- 装着するチップは、モデルに施術する場合と同じように、フリーエッジの長さや形を整えておくこと。ただし、サンディングは試験時間内に行うこと。
- サイズのあっていないチップを使用した場合や、チップの装着状態が不適切な場合は減点。また事前にサンディングをしている場合も減点。
- ミックスメディアアートのプレスオンチップは、事前に装着しているチップの上に装着すること。
- テーブルセッティング及び試験中は、アームレスト、タオル、ペーパーの上で施術を行い、直置きしないこと。